

完成事業箇所（補助事業）

かなやおまえざき 金谷御前崎連絡道路 一般国道473号 かなやさがら 金谷相良道路 24.0億円

1. 事業箇所

しずおか きくがわ くらさわ まきのほら ひがしはぎま
静岡県菊川市倉沢～同県牧之原市東萩間

2. 事業概要

かなやおまえざき 金谷御前崎連絡道路は、第二東名から一般国道1号、ふじさんしずおか 富士山静岡空港、東名とを結び、重要港湾おまえざき 御前崎港に至る延長約30kmの地域高規格道路として位置づけられています。

かなやさがら 一般国道473号金谷相良道路は、かなやおまえざき 金谷御前崎連絡道路の一部を構成し、整備が進むふじさんしずおか 富士山静岡空港と東名とのアクセス強化を図るとともに、並行する現道 473号の国際コンテナ通行支障区間の解消を目的とした延長5.3kmの4車線道路（暫定2車線整備）です。

3. 平成19年度事業内容

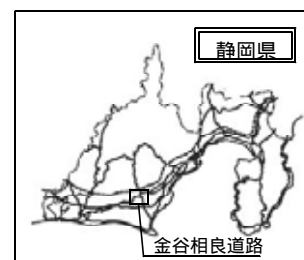
道路改良工、橋梁工を推進し、全線5.3kmを供用（暫定2車線）します。

4. 整備効果

かなやさがら 金谷相良道路が全線完成することにより、以下の効果が期待されます。

国際物流基幹ネットワークの構築

- ・当該事業区間の国際コンテナ通行支障区間の解消が図られるとともに、平成21年3月に開港予定のふじさんしずおか 富士山静岡空港と東名とのアクセスが図られ、国際競争力の高い産業基盤づくりに貢献します。
（かなやさがら 金谷相良道路が開通すると東名とふじさんしずおか 富士山静岡空港とのアクセス時間が約3分短縮されます。）



完成事業箇所（補助事業）

一般国道365号 ^{いなべ}員弁バイパス 2.0億円

1. 事業箇所

三重県いなべ市大安町～同県四日市市小牧町

2. 事業概要

一般国道365号 ^{いなべ}員弁バイパスは、一般国道365号の狭隘な未改良区間の解消と、東海環状自動車道大安IC（仮称）東員IC（仮称）へのアクセス強化、並びにスーパー中枢港湾四日市港への国際コンテナ通行支障区間の解消を目的とした延長12.0kmの4車線（暫定2車線）道路です。

3. 平成19年度事業内容

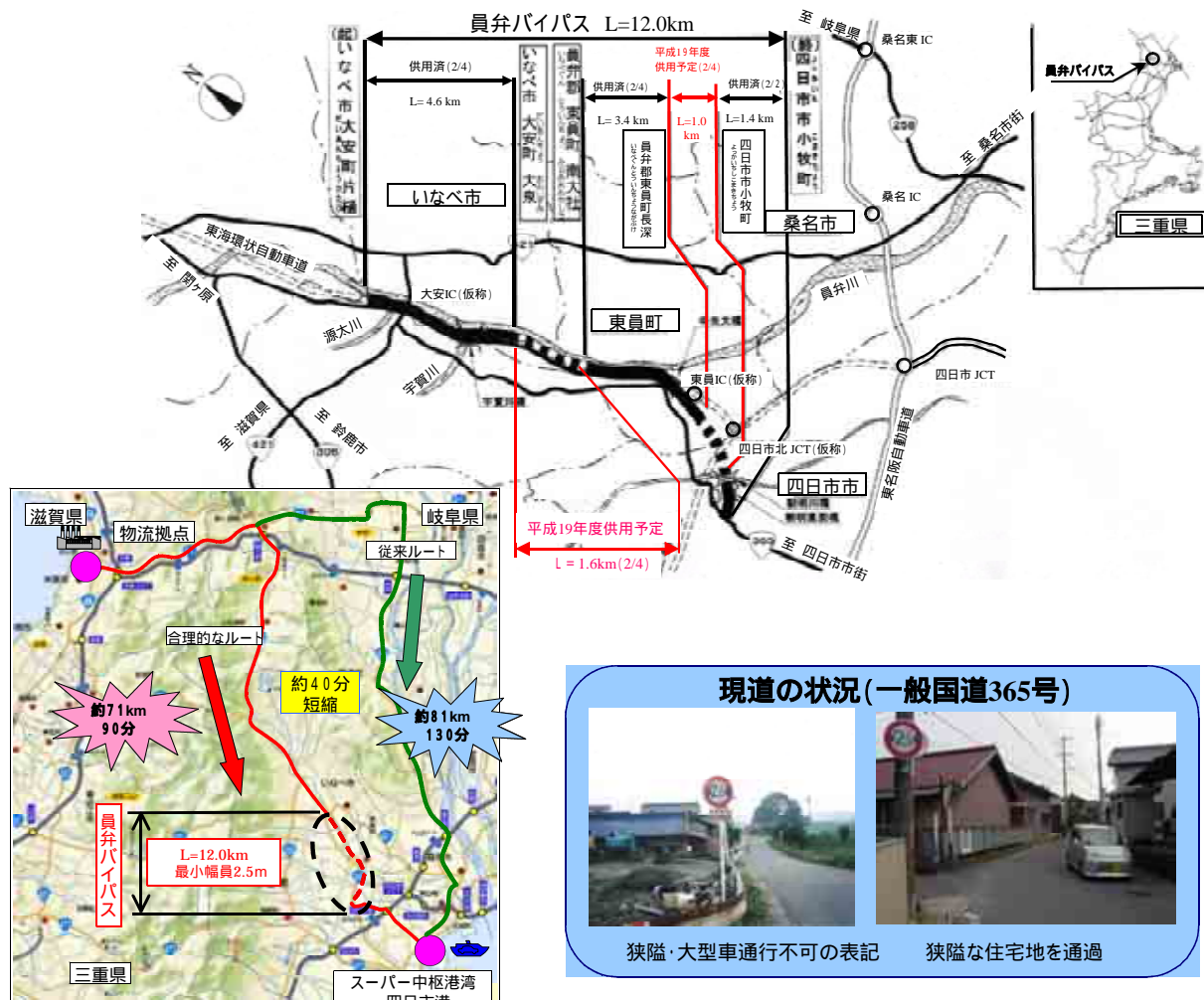
改良工事を推進し、残る2.6kmを供用し、全線完成します。

4. 整備効果

員弁バイパスが全線完成することにより、以下の効果が期待されます。

国際物流基幹ネットワークの構築

滋賀県湖東・湖北地区の物流拠点と、スーパー中枢港湾である四日市港を結ぶ区間の国際コンテナ通行支障区間が解消され、通過時間が従来ルートに比べ約40分短縮でき合理的な物流ルートが形成されます。



完成事業箇所（直轄事業）

一般国道19号 なかくふしみ 中区伏見地区自転車歩行者道整備 3.9億円

1. 事業箇所

あいち なごや なかくさかえ なかくにしき
愛知県名古屋市中区栄1丁目～中区錦1丁目

2. 事業概要

伏見地区は病院や図書館等の公共施設が立地し、また当地区内の市営地下鉄伏見駅では毎日約10万人が乗降するなど、歩行者や自転車の利用が多い地区（平日朝ピーク時：歩行者交通量2,237人/時、自転車交通量157台/時 [H17.11.9]）です。また、本自転車歩行者道整備区間は、名古屋市が現在策定中である交通バリアフリー基本構想において特定経路に指定されることが予定されています。

このため、安心安全な歩行空間整備の確保に向けて、歩行者交通と自転車交通の分離と歩道のバリアフリー化を実施するものです。

3. 平成19年度事業内容

平成19年度は、自転車歩行者道の工事を推進します。



4. 整備効果

自転車歩行者道整備を実施することにより、歩行者交通と自転車交通の分離とともに、人に優しい歩行空間のバリアフリー化が図られます。



一般国道246号 ^{ゆぶね} 湯舟高架橋耐震補強 0.4億円

1. 事業箇所

しずおかけんずんとくぐんおやまちょうゆぶね
静岡県駿東郡小山町湯舟等

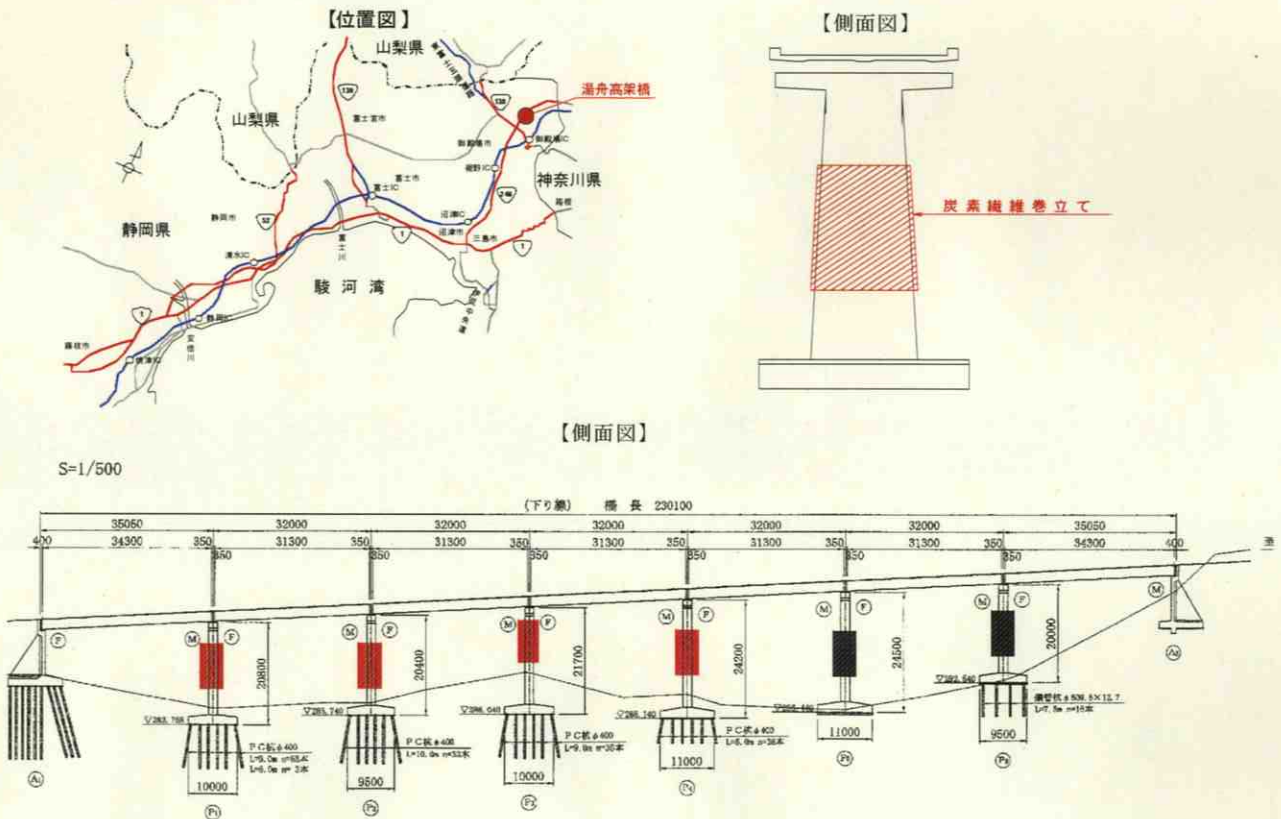
2. 事業概要

緊急輸送道路は、大規模地震時における救助・救援活動や緊急物資輸送のために極めて重要な役割を担っており、大規模地震時に緊急輸送道路がその機能を発揮するためには、橋梁の倒壊や落橋を防止するための耐震補強を行っておく必要があります。

このため、緊急輸送道路の橋梁の耐震補強については、平成7年の兵庫県南部地震等での橋梁の被災実態を踏まえ、「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」（平成17～19年度）を策定し、平成19年度末の概ね完了を目指し事業を推進しています。

静岡県内においては、「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」に基づき、一般国道246号湯舟高架橋等32橋の耐震補強（うち平成19年度完了28橋）を行い、緊急輸送道路の機能の向上を図るものです。

3. 平成19年度事業内容



4. 整備効果

耐震補強を実施することにより、緊急輸送道路の機能の向上が図られるとともに、救助・救急、医療活動および消防活動の向上に寄与します。また、地震発生時における二次的被害が解消されるとともに迂回路としての機能の向上を図ります。

主要事業箇所（直轄事業）

近畿自動車道紀勢線（尾鷲北～紀伊長島） 97.5億円

1. 事業箇所

三重県尾鷲市坂場西町～三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島

2. 事業概要

近畿自動車道紀勢線は、大阪府松原市を起点とし、和歌山県を經由して三重県多気郡多気町に至る延長約340kmの高速自動車国道です。

このうち、三重県内の尾鷲北IC（仮称）から紀伊長島IC（仮称）間（L=21.2km）は、平成15年度に国土開発幹線自動車道建設会議において新直轄方式により整備を行う区間とされました。



3. 平成19年度事業内容

平成19年度は尾鷲北IC（仮称）から紀伊長島IC（仮称）間の設計・用地取得、及び尾鷲北IC（仮称）から海山IC（仮称）間の高丸山トンネルや橋梁工事を推進するとともに、馬越トンネル及び改良工事に着手します。また、海山IC（仮称）から紀伊長島IC（仮称）間について、道瀬トンネルなどのトンネル・改良工事及び橋梁工事に着手します。

4. 整備効果

近畿自動車道紀勢線の整備によって、世界遺産である熊野古道など各地域へのアクセス向上・観光交流が促進され地域の活性化を支援します。さらに、災害や緊急時の避難路としての機能が強化されることで、安全で安心な生活が確保されます。



熊野古道



豪雨による現道の災害状況

主要事業箇所（直轄）

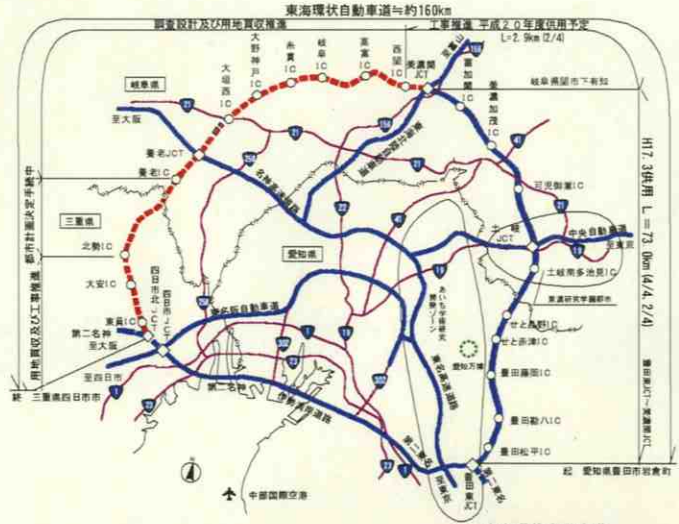
一般国道475号 東海環状自動車道 140.9億円

1. 事業箇所

愛知県豊田市～三重県四日市市

2. 事業概要

一般国道475号東海環状自動車道は、名古屋市を中心
に半径30～40km圏に位置する豊田・瀬戸・岐阜・四日市
等の諸都市を相互に連絡し、第二東名・名神等と一体とな
って、名古屋圏の環状道路を形成する延長約160kmの一般
国道の自動車専用道路です。



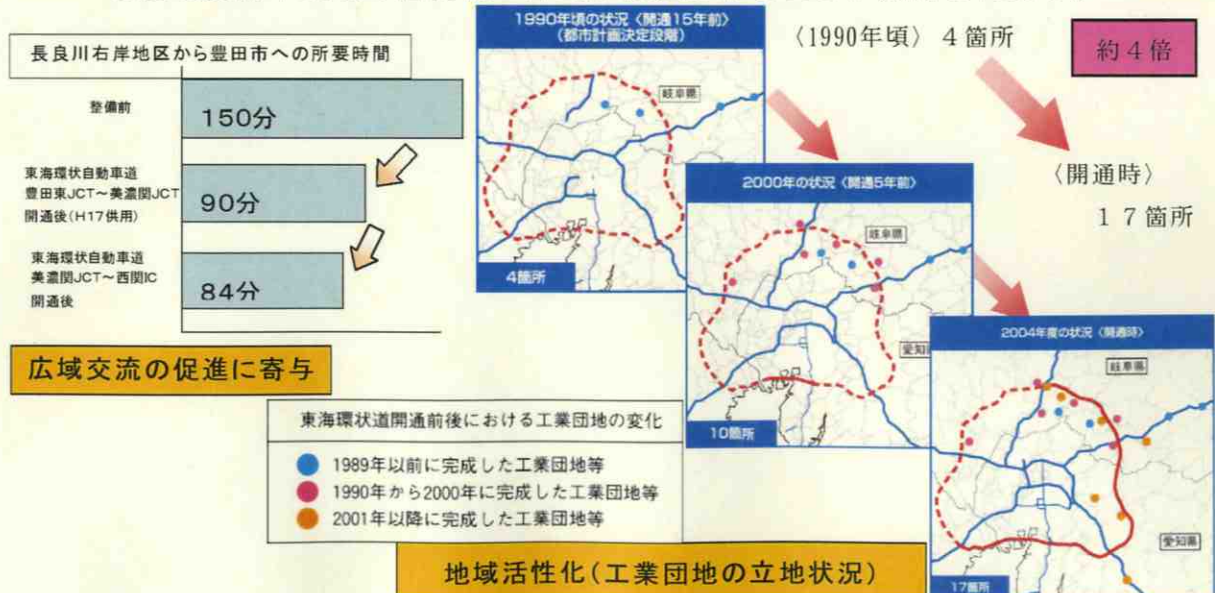
3. 平成19年度事業内容

平成19年度は、美濃関JCT～西関IC間の工事推進、西
関IC～養老IC間の調査設計・用地買収推進及び大垣市内
で工事に着手、養老IC～北勢IC間の都市計画決定を踏ま
えて測量等の現地調査に着手、北勢IC～四日市北JCT間の
用地買収及び工事推進を図ります。



4. 整備効果

東海環状自動車道の豊田東JCT～美濃関JCT間の整備によって、工業団地等
の立地が進むなど地域の活性化や自立が進んでおり、今後、全線の整備により、
岐阜市から豊田市間への所要時間が大幅に短縮されるなどによって、さらなる
広域交流や地域の活性化・自立が促進されることが期待されます。



主要事業箇所（直轄事業）

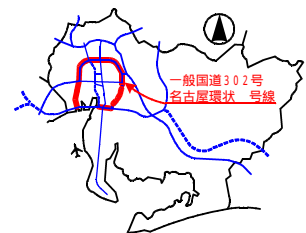
一般国道302号（名古屋環状 号線） 133.3億円

1. 事業箇所

名古屋市 中川区 富田町 ~ 名古屋市 中川区 富田町

2. 事業概要

名古屋環状 号線は、名古屋市街部の外縁を形成する総延長約66kmの環状道路で、市内から放射状に伸びる幹線道路や名古屋高速道路と主要地点で連絡し、市内へ集中する交通の分散・通過交通の排除により、都市内の渋滞を緩和し、名古屋市周辺の開発を支援することなどを目的に計画された幹線道路であり、自動車専用道路と一般道路（一般国道302号）の複断面により構成されています。



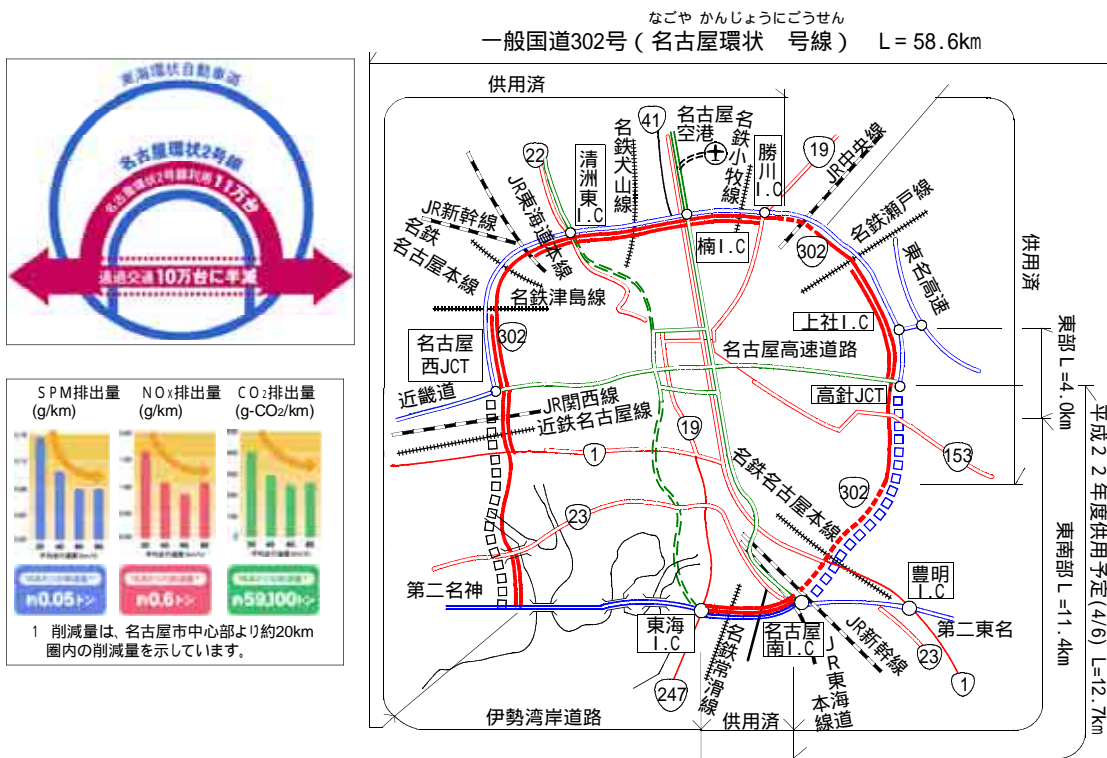
3. 平成19年度事業内容

平成19年度は、東部・東南部の橋梁及び改良工事等を推進します。

4. 整備効果

名古屋環状 号線の全線整備によって、名古屋都市圏を通過する交通量が21万台/日から10万台/日に半減すると見込まれ、これに伴って名古屋都心部の交通集中が緩和されます。

さらに、渋滞の緩和による平均走行速度の上昇により大気汚染物質であるSPMやNOx、温室効果ガスであるCO2の排出量の削減が期待されます。



主要事業箇所（直轄事業）

一般国道19号 南木曽地区防災対策 0.5億円

1. 事業箇所

長野県木曽郡南木曽町読書

2. 事業概要

一般国道19号は、愛知県名古屋市を起点とし長野県木曽地域を經由して長野県長野市に至る延長約260kmの主要幹線道路であり、長野県が策定した「緊急輸送道路ネットワーク計画」の中で第一次緊急輸送道路に指定されています。

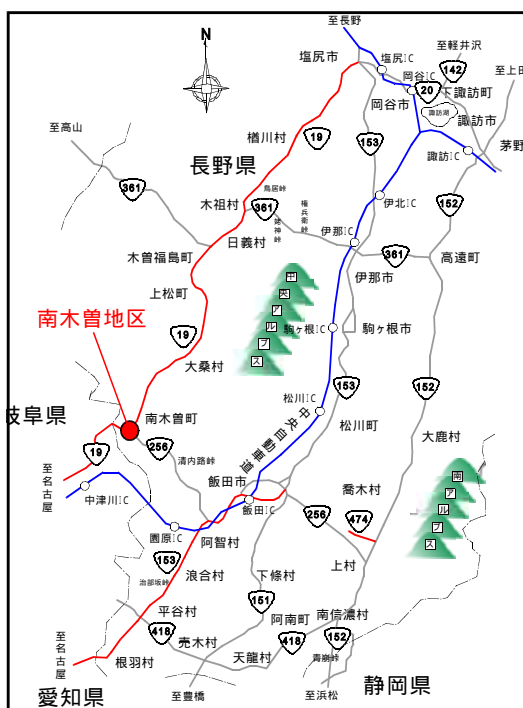
一方で、木曽地域は急峻な山に挟まれ近辺に迂回路がなく国道19号が唯一の幹線道路であるため、災害発生による通行規制は、地域に多大な影響を及ぼすため、防災対策箇所について鋭意事業を進めているところです。

当該箇所は、雨量通行規制区間に指定されており、また、のり面には落石の恐れのある岩が点在しているため防災対策必要箇所となっています。

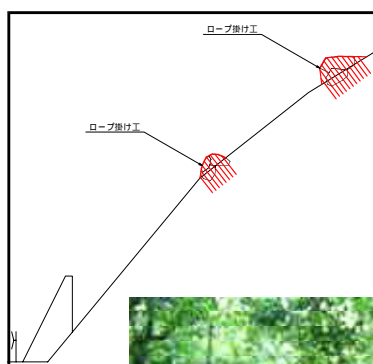
このため、防災対策を行うことにより安全で円滑な交通を確保し、事前通行規制区間の早期緩和を図るものです。

3. 平成19年度事業内容

【位置図】



【断面図】



4. 整備効果

防災工事を実施することにより、主要幹線道路としての信頼性を高め、台風等の異常気象時における安全性の向上を図ります。また、雨量規制区間の早期解除や孤立集落の解除が図られるとともに、救助・救急、医療活動及び消防活動の向上に寄与します。

主要事業箇所（直轄事業）

（短期対策）雀子ヶ根交差点渋滞緩和対策

1. 事業箇所

岐阜県恵那市大井町雀子ヶ根

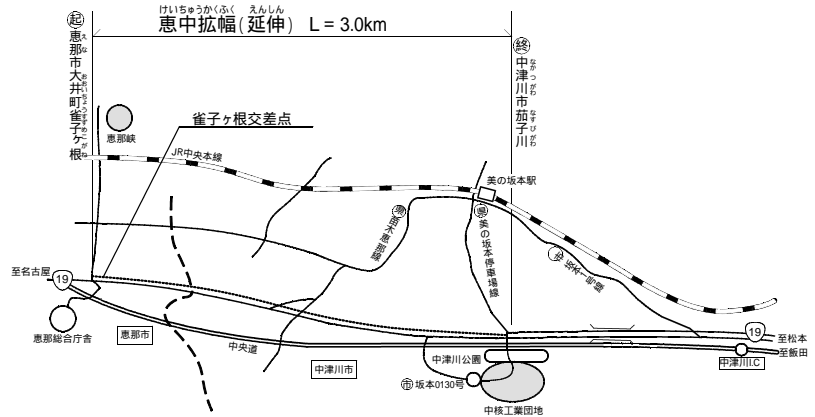
2. 事業概要

雀子ヶ根交差点渋滞緩和対策は、一般国道19号恵中拡幅の事業区間において実施する渋滞緩和のための短期対策です。

当該交差点は県内でも有数の渋滞箇所ですが、4車線拡幅事業の全線供用には時間を要するため、現段階で実施が可能な対策を先行的に実施し、当面の渋滞を緩和させる対策です。

3. 平成19年度事業内容

平成19年度は、一般国道19号と並行する迂回路（恵那市道雀子ヶ根原側道線）の拡幅工事を実施します。

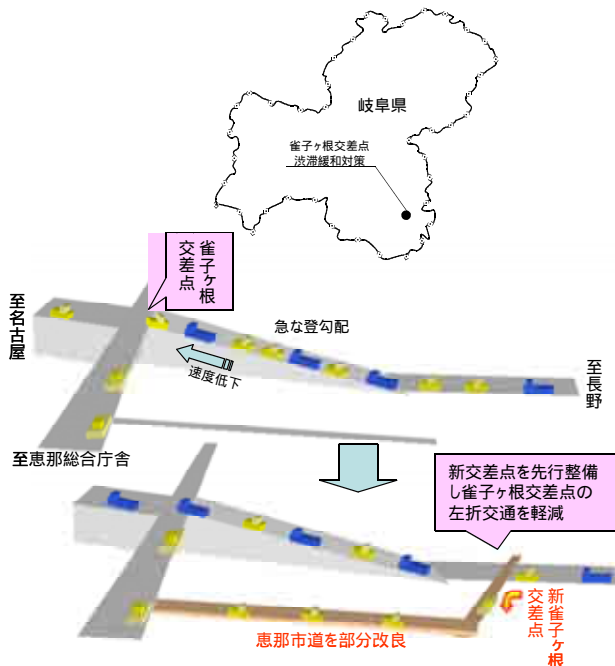


4. 整備効果

平成20年度に新雀子ヶ根交差点（仮称）を先行的に整備することにより、以下の効果が期待されます。

雀子ヶ根交差点の渋滞緩和

- 岐阜県恵那総合庁舎などへ向かう左折車両を新雀子ヶ根交差点（仮称）で事前に迂回路へ誘導し、雀子ヶ根交差点での左折車両台数の低減を図り、渋滞を緩和します。



主要事業箇所（直轄事業）

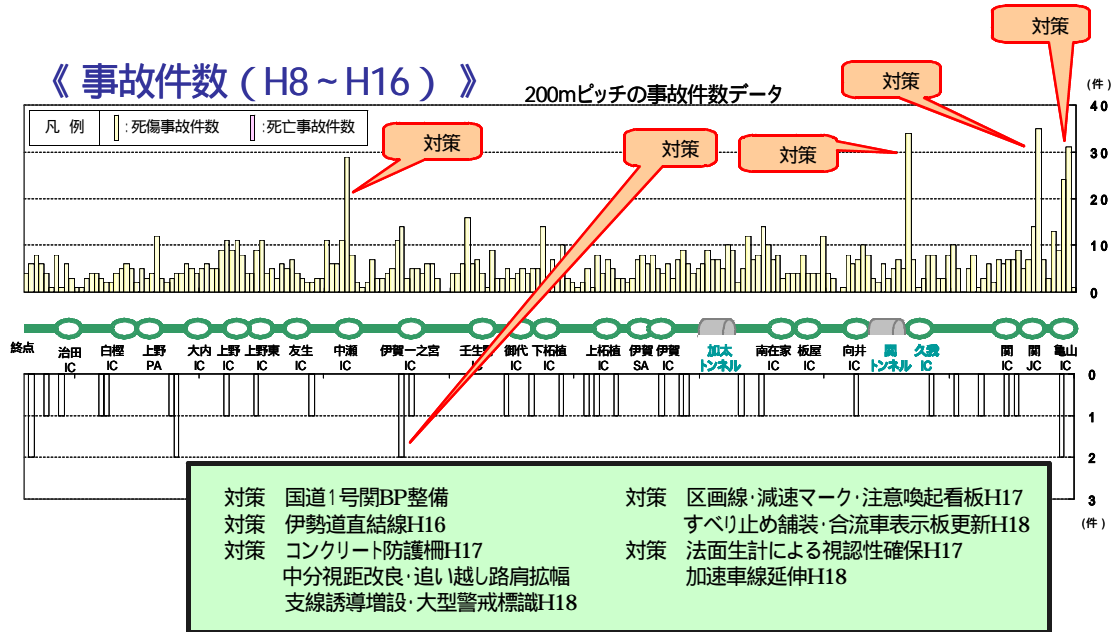
一般国道25号 名阪国道交通事故対策

1. 事業箇所

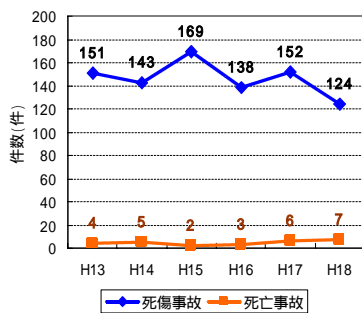
三重県亀山市太岡寺町～同県伊賀市治田

2. 事業概要

一般国道25号（名阪国道）は東名阪自動車道と西名阪自動車道とを直結する自動車専用道路であり、名古屋～大阪間の主要幹線道路です。



《 事故件数の推移 》 三重県側



これまで事故対策として、コンクリート防護柵の設置等、事故が多発している箇所を中心に事業を推進していますが、平成17年に全国の自動車専用道路10kmあたりの死亡事故発生件数がワースト1でした。

自専道死亡事故ワースト1を返上するため、地域の代表者、道路利用者、交通管理者、行政による「名阪国道の安全安心走行を考える懇談会」を設置し、日頃の問題点や危険箇所についての意見交換を行って来ました。

今後引き続き懇談会において、主に短期的に取り組むことができるソフト、ハード対策についての改善計画を議論しながら事故対策事業を推進していきます。

「名阪国道の安全安心走行を考える懇談会」 参加機関名	
三重県トラック協会	伊賀市建設部
いがの道女性会議	高速道路交通警察隊
亀山商工会議所	北勢国道事務所
上野商工会議所	
亀山市自治会長	(事務局)
伊賀市自治会長	北勢国道事務所副所長
亀山市観光協会	調査設計課長
伊賀上野観光協会	管理課長
鈴鹿建設事務所	上野維持出張所長
伊賀建設事務所	
亀山市産業建設部	



H19.3.2懇談会状況